

毎月、リビング編集部が郡山市の熊田佳恵さんと共に、街中の身近なユニバーサルデザインを見つけていく「こおりやまUD探訪」わたしの街のユニバーサルデザインを。このコラムのバックナンバーは、郡山市ホームページ「こおりやまUD探訪」で検索を。UDコラムに関する問い合わせは、郡山市市民部 市民・NPO活動推進課 ☎024(924)3471。

リビング編集部が街中の身近なユニバーサルデザインを見つけていきます



車いすのまま本堂に入れる電動昇降機 段差の低いゆるやかな階段

PR

わたしの街の ユニバーサルデザイン

ユーディー

こおりやまUD探訪

vol.6 法輪山 道因寺

古くからある建物の中にも、ユニバーサルデザインを見つけました。

郡山市開成にある「道因寺」の本堂前に、車いす用の電動昇降機とゆるやかな階段が設置されたのは今から20年以上前。お寺を訪れる方が誰でも不便なく利用できるように、との思いからでした。「その後も駐車場から本堂に続く通路の砂利をコンクリートに整備したり、手すりも備えたゆったりトイレを設置するなど、徐々に今の形にし

てきました」と、前住職の石田宏壽さん。墓地内の通路の幅も広くし、車いすでも通れるようになっています。通路わきに植えられた四季折々の花々が訪れた方々の心を和ませ、夏には多くの方が集う夏祭りが開催されるなど、地域の皆さんの交流の場ともなっています。

ユニバーサルデザインは、終わりのない取り組みです。少しずつ工夫を重ねて、みんなにやさしい場所、やさしいまちをつくっていききたいですね。



「誰にでも優しく、地域に開かれたお寺」を目指すなら、ハード面もソフト面も整えなければユニバーサルデザインになりません。1つを整えるだけではなく、点を線に、そして線を面に。今後も地域の皆さんの支えになれるよう、いろいろな方法を考えていきたいと思っています。

前住職 石田宏壽さん



本堂隣の会館内の誰でも利用できるトイレ